

事例紹介

あらしろ 沖縄県八重瀬町立 新城小学校

算数の習熟に、りれきドリル！

～学習履歴を指導に活かす～



大きなガジュマルの木がそびえ立つ新城小学校では、算数を中心に授業や補習、家庭でeライブラリを活用しています。先生方やICT支援員の工夫が光る、指導の様子をご紹介します。

授業 りれきドリルで、定着度の確認

6年生の算数は、普段は習熟度別に授業を行っていますが、単元のまとめには全員で一斉にりれきドリルに取り組み、定着度の確認を行います。

●「全教材クリア」を目指そう

この日は「量と単位のしくみ」の中の全教材クリアを目指して、全員でりれきドリルに取り組みました。時間内にクリアしようと皆が集中して問題を解く中、担任の島本先生や算数担当の玉城先生がきめ細やかに個別指導を行います。時には教科書を見直し、ノートに書いて考えながら、各自でしっかりと単元を振り返りました。



● ICT支援員との連携が光る！

授業を支えるのは、玉栄支援員の頼もしいサポートです。ログインするためのIDカードを準備したり、操作につまずいた児童を補助したりと大活躍です。

授業の後半には、玉栄支援員が「eライブラリ先生」で学習状況を確認し、それを受けて先生方が目標に達していない児童への個別指導に入る場面も。先生と支援員の連携が指導の質を高めています。



■学年ごとに色分けされたIDカード

● 学習履歴を指導に活かす

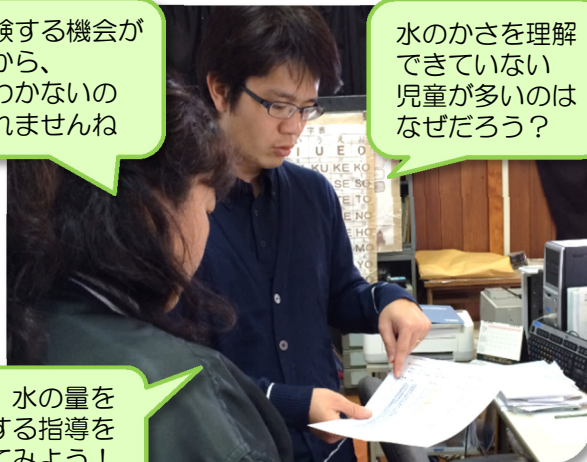
授業後には、玉栄支援員が学習履歴を印刷し、先生方が結果を確認します。この日は目標の教材まで達しなかった児童の人数や学習履歴を見て、クラスの定着度やつまずきやすいポイントについて話し合いました。

そこには、ドリル学習を通してクラスの課題を把握し、次の指導に活かそうという先生方のねらいがあります。

普段体験する機会が少ないから、実感はわからないのかもしれないかもしれませんね

水のかさを理解できていない児童が多いのはなぜだろう？

今度、水の量を体感する指導を入れてみよう！



■話し合う島本先生と玉城先生

昼休み 昼休み補習に、りれきドリル

PCなら苦手な教科も楽しく学習できるという利点を活かし、補充学習や家庭学習にもeライブラリを活用しています。

● 学年を越えたふいかえいに

月曜から木曜の昼休みには、昼食を終えた5年生の児童6名がPC教室にやってきます。りれきドリルを使った楽しい**算数補習**の始まりです。

玉城先生が2～3年生の単元の中から教材を選び、分かるまで丁寧に復習していきます。

「**数年前に習った単元に再度取り組むことで、ふりかえり、定着させるねらいがあります**」と玉城先生。



■リトライ機能を使って、学習内容が自分のものになるまで取り組みます

● 学習の機会を増やす

このほかにも、夏休みのPC教室開放に参加した児童にドリルの使い方を紹介したり、**保護者が申し込む形で家庭学習サービスを案内する**など、様々な場面にeライブラリでの学習を取り入れています。そこには、学習の機会を増やすことで、一人でも多くの児童に学習に関心をもってほしいという先生方の願いが込められています。

指導方法工夫改善担当(算数)

たましろ けいこ 玉城 桂子 先生のお話



理解度の確認や習熟のため、単元のまとめにりれきドリルを取り入れています。特に合同な図形や垂直・平行など、図形の単元の確認・定着に使うと効果的だと感じます。

指導時には、「今日はここを全てやりきろう」「レベル9を目指そう」など、分かりやすい目標を立てて児童の意欲を高めるように工夫しています。しっかり目標づけをすると頑張っており取り組む児童が多く、自然と児童同士の教え合いが生まれるのも嬉しい効果です。



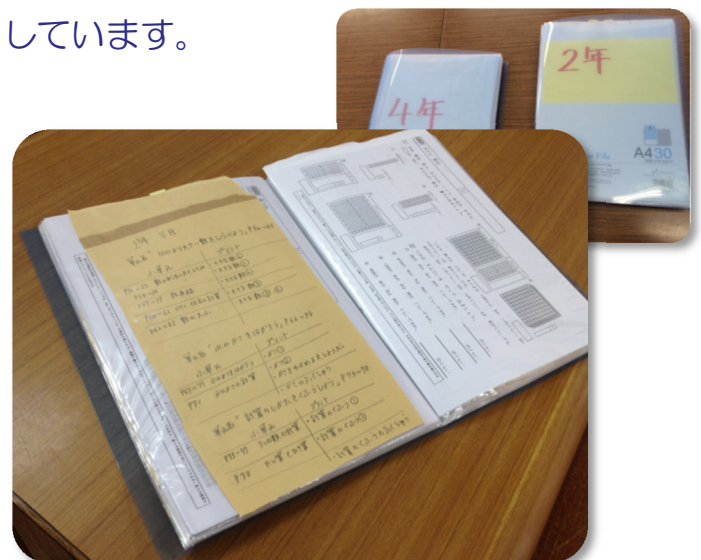
宿題 プリントで、教材準備の時間を短縮！

宿題や補習には、小学校プリントパックを活用しています。

● よく使うプリントを、職員室で共有

低学年の宿題や放課後補習の課題には、宿題プリントをよく利用しています。ここにも、先生方の運用の工夫がありました。

PC操作が苦手な先生や、PCが空いていないときでも手軽に印刷できるよう、学習支援員の島袋先生が**利用頻度の高いプリントを単元ごとにクリアファイルにまとめ**、職員室で共有しています。「いつでもここからすぐに印刷できて、使いやすい」と先生方に好評です。



■島袋先生が作成したプリントファイル